

第 2 章 . 保守・その他

2 - 1 . 故障・トラブル等の原因と対処

本機は全数検査のうえ出荷されています。

お手元での動作確認方法は 1 - 5 項に記されています。動作に不具合があるときは以下の諸点を再点検してください。それでも不明なときは巻末の【Q & A フォーム】にシステム構成（特に外部機器の接続回路）等の動作条件を御記入のうえ、技術部宛 F A X してください。

迅速に応答する体制となっています。なお、T E L いただく場合も客観情報の整理・評価は問題解決のスピードアップにつながりますから事前に【Q & A フォーム】を F A X してください。

再点検・確認ポイント

- (1) 電源供給 範囲内 ($5 \text{ V} \pm 5 \%$) で供給容量は充分か？ L E D は点灯しているか？
- (2) ケーブル 対ボード間のケーブル接続は？ (長すぎると電源不調発生も)

動作確認方法

当社では原則として、ユーザの接続したセンサ・回路・システムについては評価しません。動作確認・サポート対象は当社側で実装した部分についてのみです。(1 - 5 項参照)

2 - 2 . 修理のときは

入手経路の如何にかかわらず当社宛に直接お申しつけください。商社等を経由されますと時間がかかるだけでなく、情報交換の不便、費用の面でも不利になります。なお当社では修理依頼を受けた製品が検査の結果、良品と判定された場合は (保証期間内でも) 手数料を申し受けます。

特に最初からの不具合には誤解や情報不足によることが多いので事前に御相談ください。

次ページ【Q & A フォーム】が便利です。

【注】 本基板に実装して使用するセンサアンブ (5 B シリーズ) は汎用部品であり、流通ルートや納入時期などの特定ができないため、無償サポートの保証期間が無いことを御承知のうえで御利用ください。

マイクロサイエンス（株）行

FAX：03（3247）1850

Q & A フォーム

発信： 年 月 日 / 時 分

製品名	A I U - 3 0 4 B R D		購入時期	年	月	
ボード上の 設定、 使用状況			接続先（A D ボード名）			
その他						
I / O、 周辺状況	同時使用の 他ボード			I / O アドレス 割り込み、等		
本体 システム	パソコン本体			拡張 B O X		
	本体メモリ					
	O S	D O S ()	W I N ()			
ソフト	言語			コンパイラ	(v r)	
	プログラム名					
(動作状況)						

《 6 0 分以内に応答のないときはお叱りください。》TEL：03（3247）1840

御使用者			(所属部・課)
団体名			
T E L			(所在地)
F A X			